

早稲田大学 教育学部 日本史 講評

出題形式	マーク・記述併用
試験時間	60分
特徴・その他	大問数5題、小問数43問で、例年より1問増えた。記述問題10問、選択問題33問(内訳は正誤21問・語句選択4問・正誤の組み合わせ5問・語句の組み合わせ1問・年代配列2問)。選択問題はすべて選ぶ形式が3問あった。時代別では古代・中世・近世・近代・現代の計5題で、全時代からバランスよく出題されている。戦後史は2019年度が6問、2020年度が1問、2021年度が3問、2022年度が2問だったが今年度は6問あった。分野別だと2019年度は政治史と外交史で85%、2020年度は政治史と社会経済史で75%、2021年度は政治史と文化史で70%、2022年度は政治史と社会経済史で90%だが、今年度は政治史・外交史・社会経済史ともによく出た。5題中4題が史料問題であり、史料読解などもあるため試験時間60分は余裕がない。

〔大問別講評〕

番号	出題内容	コメント	難易度
I	古代の日朝関係 ＜史料＞	問5:ウが正しい。②の歌に「秋になったら逢えるのに」とある。問6:アが誤り。橘奈良麻呂の変ではなく藤原広嗣の乱。	標準
II	『法然上人絵伝』 ＜史料・図版＞	問1:ウが適切。道元は延暦寺の圧迫を受けた。問2:イが誤り。押領使は初めは臨時の官。問4:ウが誤り。浄妙寺ではなく寿福寺。消去法で解く。問5:イ・ウが適切。難問。イ…写真1(p.7)の門には扉がなく、写真2(p.7)には扉がない。ウ…写真1(p.6)の奥に障壁画が描かれている。写真2(p.7)の屋内に畳が敷かれていると判断した。問6:オが適切。やや難。史料に「時国、いささか本姓に慢ずる心ありて」とあるので「先祖が…流罪となったことを恥じていた」とはいえないだろう。問7:解答は「滝口」。宮中の警護を任務としたのは滝口の武者。	やや難
III	江戸時代の一揆 ＜史料＞	問1:解答は「逃散」。他領や山中に退去することを逃散という。問2:解答は「醍醐」。難問。教科書に修験道の本山として聖護院と醍醐寺三宝院が記載されているが難しい。問4:オが適切。X…百姓が商いを行うのは東北地方に限らない。Y…江戸後期には貧困化した本百姓が小作人化する。問8:オが誤り。閑院宮家の創設は新井白石の事績。問9:エが適切。難問。問10のイ「田地がなくとも毎日働けば生活はできる」、オ「田畑を売り惜しみ、人間が出奔するようなことは間違っている」がともに正文と判断した上で、毎日働く＝「日用」は認めているため、出奔を「無宿」と判断した。問10:ウが適切。史料に「全くびんぼう(貧乏)を恐るべからじ」とある。	やや難
IV	近現代の女性による 文学作品	問2:解答は「石川啄木」。やや難。問3:エが誤り。徴兵逃れがなくなるのは免役規定を撤廃した1889年と考えられる。問4:オが適切。やや難。②明治民法において女戸主は認められた。問6:アが誤り。制定当初は自由主義思想を弾圧するためのものではなかった。問8:エが誤り。戦後も食糧の配給は続いた。問9:イが適切。やや難。②…サンフランシスコ平和条約により在日朝鮮人は日本国籍を喪失させられたので正文。	やや難

番号	出題内容	コメント	難易度
V	日本国憲法 ＜史料＞	問1:解答は「普遍」。やや難。問2:解答は「不戦」。「漢字で」という指定に気をつけよう。問3:エが誤り。貴族院と衆議院は対等。問4:エが正しい。やや難。①…内閣総理大臣は衆議院から選ばれるとは限らず参議院でもよい。問5:オが誤り。日本の国連加盟は日ソ共同宣言の結果である。問8:イ・エが誤り。やや難。イ…恒久平和と自由の確保は直接結びつけられていない。エ…政府の行為によって再び戦争が起きないように、とは書かれているが、エの内容は記されていない。	やや難

〔総合コメント〕

難易度はやや難である。史料問題は昨年度同様4題。史料読解問題が昨年度同様5問(今年度は写真問題もあった)出されており、ここに時間が取られるだろう。また正誤の組み合わせ問題が5問、これまでなかった年代配列問題が2問、「すべて選べ」が3問あり、ハードな作りの入試問題となっている。なお図版は「法然上人絵伝」と「一遍聖絵」(今年度)、「一遍聖絵」と鎌倉の地図(2022年度)、荘園絵図(2011年度)、日本地図(2008年度)など時折出されているが、ここ2年連続である。2021年度から難化傾向が続いている。